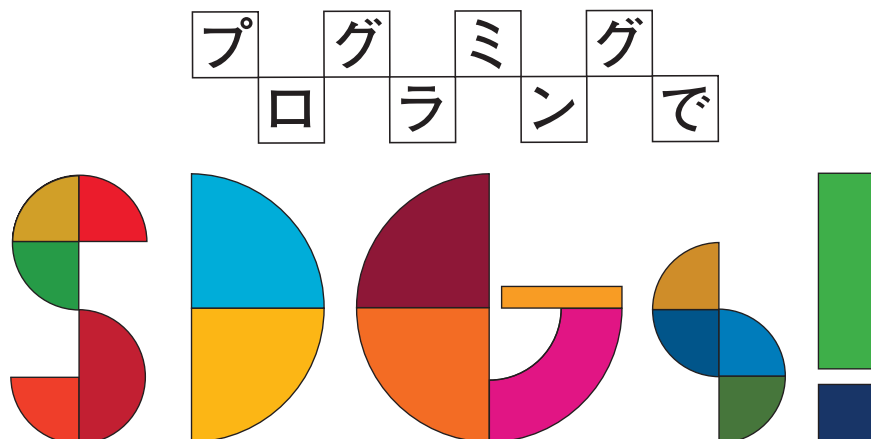


SDGsって、何をしたら良いんだろう？
プログラミングって、何の役に立つんだろう？
そんな答えに！



2030 年に向けた「持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)」における社会課題解決のための取り組みは、ICT 活用／プログラミングが重要な役割を果たします。

みんなが幸せに暮らせるより良い社会を実現するために、ICT /プログラミングを通して何ができるか？ 私たちの活動は、SDGsに関連する学びの場とプログラミングワークショップを通じて、こどもたちが ICT(プログラミング)による社会課題解決を体験し、未来への気づきを得ることを目指します。SDGsをテーマとして、子ども達が考える場を地域や企業と共に創り上げていくプロジェクトです。

第1弾は、プログラミングで「海の」SDGs! を開催しました。
2020年は東京以外で、6～8ヶ所の開催を予定しています。

2019年は、SDGs 課題14「海の豊かさを守ろう」をテーマに、講演会とプログラミングワークショップを通してみんなで考えることができるイベント「プログラミングで海のSDGs!」を開催しました。2020年に本イベント開催に興味のある地域／地方自治体の方々は、ぜひお声がけください。また、地域のために本イベントの協賛にご興味のある企業の方々の支援も大歓迎です。



2019年に大好評だった「プログラミングで海のSDGs!」の詳細は裏面に！

このイベントは、海と日本PROJECTの一環で実施しています。



YELLOW PIN PROJECT

<https://programming.or.jp/>

お問い合わせ：一般社団法人 イエロー ピン プロジェクト
TEL：03-5784-4651 (10:00～17:00 土日祝日を除く)
FAX：03-5784-2781
E-mail：info@programming.or.jp 担当：三輪

2019年 プログラミンで海のSDGs!は、こんなふうで開催しました！

○ 親子向け講演会 「未来のために知っておきたい、海とプラスチックの話」

講演していただいたのは、大阪商業大学公共学部 准教授の、原田禎夫（はらだ さだお）先生！原田先生ご自身の経験をもとに、写真や映像を使って、世界の「海」と「プラスチック」の、貴重なお話をしていただきました。参加してくれた親子の方の海外の取組みへの関心が高く、たくさんの質問が出ました！「難しいことではない、ひとりひとりが意識することが大事」ということを教えていただきました。

『参加者の声』

○ 日本にはレジぶくろやペットボトルなどのごみが、いっぱいすてられていてびっくりしました。生き物たちはそのごみを食べてしんでしまうときき、かわいそうだと思います。プラスチックごみをへらすために自分たちがごみをゼロにするように協力したいと思います。 **10才 女兒**

○ ストローやレジ袋のことはニュースで知っていたが、人工芝までマイクロプラスチックになっていることに驚きました。小学校が今年から人工芝になるので心配になりました。 **40代 保護者女性**



○ 海ごみ調査プログラミングワークショップ

micro:bitとMakeCodeを使って海洋プラスチックごみの調査船をプログラム

ブロックプログラミングで、海ごみ調査船のプログラムを組んで、自分だけのmicro:bitで海洋プラスチックごみの調査をしました！どんなごみが集まったのか、最後は調査結果をもとに海ごみについても考え、みっちり2時間がんばりました！

『参加者の声』

○ プログラミングは初めてだったけれど、どのようにやればいいのか分かりやすく説明してもらってよく分かりました。海洋プラスチックはもう7割くらいあって、これからの予想は変えられるかもしれないので、自分も家族と日ごろからプラスチックと4Rなどを気をつけようと思いました。 **10才 女兒**

○ プログラミング教室は様々ありますが、問題解決の手段として考えるのはとても良いと感じました。 **40代保護者男性**



後援：総務省、環境省、未来の学びコンソーシアム、江東区教育委員会、横浜市教育委員会、亀岡市教育委員会

協力：神奈川工科大学、亀岡市環境政策課、大阪商業大学原田ゼミナル、日本大学チームサステナ、リトルスタジオインク株式会社

特別協力：公益財団法人 日本財団



Little Studios, Inc.

●リトルスタジオインクはYPPのコンテンツ制作パートナーです。

お問い合わせ：リトルスタジオインク株式会社

TEL：03-5784-2784（10:00～18:00 土日祝日を除く）

FAX：03-5784-2783

E-mail：info@happy-news.co.jp

URL：<https://www.happy-news.co.jp>

新たな環境の変化に対応したコンテンツを、一緒に開発しませんか？

「プログラミングでSDGs!」のプログラミングコンテンツ開発、ウェブサイト制作、印刷物制作等は、コンテンツ制作パートナーであるリトルスタジオインク株式会社と一緒にしています。

リトルスタジオインク株式会社では、ゲームやクイズを通じて、社会的に必要なスキルや知識を身につけていくという、シリアスゲームアーケードを自主運営しています。<http://serious-games.jp/>

「My! ベント」「エネクイッチ」「みんなのエコファミリー」といった環境系コンテンツも提供していますが、内容が古くなってきていることは否めません。新たな環境の変化に対応したコンテンツ開発に興味のある企業の方の協業のお問合せをお待ちしています。ご連絡は、上記リトルスタジオインク株式会社まで。